



令和8年度

在宅リハビリテーション エキスパート・ジェネラリストコース

あなたはエキスパートを目指しますか？ジェネラリストを目指しますか？
オールラウンドに対応可能な在宅リハビリテーションマスターを目指しませんか？



当会では2021年度より、「在宅リハビリテーションエキスパート・ジェネラリストコース（在宅リハEGコース）」を開設しました。多様な知識・技術が求められる在宅リハビリテーションにおいて、自職種の知識のみに捕らわれず、あらゆるケースに対しオールラウンドに対応可能な在宅リハビリテーションマスターを育成し、生活期（在宅）リハビリテーションの質の向上に寄与することを目的としています。

プログラムは、在宅リハビリテーションに関する総論から幅広い分野の各論を網羅するため、各分野の専門家に講師としてご登壇いただき、講師とのディスカッションやグループワークを通じて見識を深める内容となっています。

他には無い充実したセミナーとなっていますので、奮ってご参加ください。

※『エキスパート・ジェネラリスト』とはビルゲイツも提唱し以下の効果があると言われている。

- 1) 特定の分野やコミュニティに偏るバイアスの影響を受けにくいことから、より正確な予測、判断ができる。
- 2) ある分野で上手くいった事例を別の分野に横展開で生かすことで、画期的なアイデアを生み出せる。
- 3) エクスパート・ジェネラリストが異なる分野の人たちのコネクターとなって繋ぐことで、よりオープンなネットワークを築ける。

コース概要

- 【主催】 一般社団法人 全国デイ・ケア協会
- 【協力団体】 一般社団法人 日本訪問リハビリテーション協会
一般社団法人 日本リハビリテーション病院・施設協会
一般社団法人 回復期リハビリテーション病棟協会

- 【研修日程】 全6クール
- ① 2026年9月5日(土)～6日(日) ※東京開催
 - ② 2026年10月16日(金)～18日(日) ※オンライン開催
 - ③ 2026年11月28日(土)～29日(日) ※オンライン開催
 - ④ 2027年1月15日(金)～17日(日) ※オンライン開催
 - ⑤ 2027年2月6日(土)～7日(日) ※オンライン開催
 - ⑥ 2027年3月5日(金)～7日(日) ※東京開催

【研修会場】 オンライン開催+集合開催

【研修費用】 一般 ￥120,000
認定デイ・ケアマスター ￥90,000

- 【対象】 主催または協力団体会員で、以下の条件に当てはまる方
- ◆ 受講開始時点で経験5年以上(うち生活期の経験2年以上)の専門職 ※施設長の推薦が必要
 - ◆ 医師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師・介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士・管理栄養士・歯科衛生士のいずれかであること
 - ◆ すべてのプログラムにご参加できる方
- ※会員が所属している法人職員も受講可能

【研修内容】 別紙参照

【定員】 40名

【研修申し込み】 下記URLまたはQRコードよりお申し込みください。

〈申し込みフォームURL〉

<https://business.form-mailer.jp/fms/e331b5e1338835>

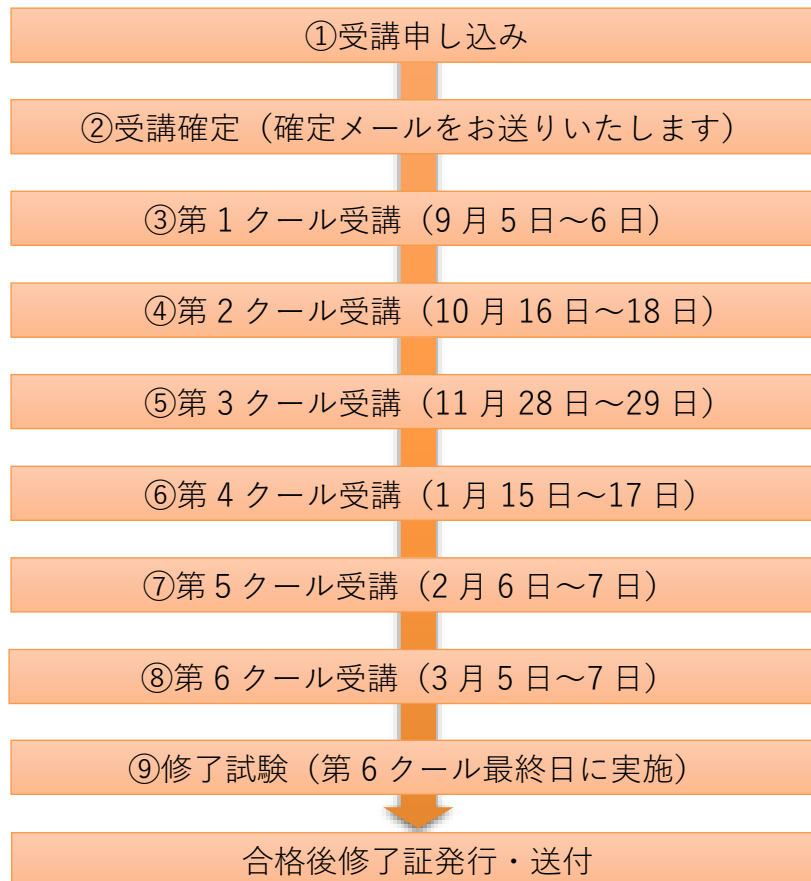
【申込〆切】 2026年8月20日(木)

〈申し込みフォーム〉



地域でその人の暮らしを支援するには幅広い知識と技術、他職種との協業・協力が必須になります。自職種の知識のみに捉われず、あらゆるケースに対しオールラウンドに対応可能な在宅リハビリテーションマスターを育成し、生活期(在宅)リハビリテーションの質の向上に寄与したいと考えています。是非共に学びましょう。

【修了証発行の流れ】



【受講者の声 (アンケートより)】

在宅医療に必要な知識を学べる研修会でとても勉強になりました。一人で学ぶのではなく研修会に集まった仲間と共有しながら勉強できることが参加してよかったです。

一言で、参加させていただき本当に良かったです。在宅に関わる仕事をしている人にとっては必要な情報で現場に近い内容なこともありがたかったです。何より、自事業所の在り方を振り返ることが出来て、さらに質を高めようと思えることのできる研修です。

在宅ケアに従事する者として、ここまでの広い知識が必要だとは考えていましたが、実際は自己研鑽で補うことは難しい状況でした。本コースに参加して研鑽したことを発揮し、地域の利用者に還元していけるようにしていきたいと思います。

管理職になったばかりで新しい知識も多く得ることができました。また、他の事業所の方々とのディスカッションも新鮮でとても刺激的でした。ここで学んだことを持ち帰って活かせるように精進していきたいです。

【講義テーマ一覧】

NO.	講義名	講師	所属	役職
1	在宅リハビリテーション総論	近藤 国嗣	一般社団法人 全国デイ・ケア協会	会長
2	通所リハビリテーションの果たすべき役割と他事業所連携	岡野 英樹	一般社団法人 全国デイ・ケア協会	理事
3	訪問リハビリテーションの果たすべき役割と他事業所連携	鈴木 修	一般社団法人 日本訪問リハビリテーション協会	会長
4	在宅生活者に対する施設リハビリ（老健）の果たすべき役割と他事業所連携	野尻 晋一	一般社団法人 全国デイ・ケア協会	副会長
5	通所介護の果たすべき役割と他事業所連携	仁科 康彦	セントケア・ホールディング株式会社	事業支援本部 新規開設支援部 課長
6	訪問看護の果たすべき役割と他事業所連携	高砂 裕子	一般社団法人 全国訪問看護事業協会	副会長
7	ケアマネジメントの理解と自立支援	能本 守康	一般社団法人 日本介護支援専門員協会	常任理事
8	在宅リハに求められる必要な評価と解釈	澤潟 昌樹	一般社団法人 全国デイ・ケア協会	理事
9	在宅リハに必要な診療報酬・介護報酬のポイント	近藤 国嗣	一般社団法人 全国デイ・ケア協会	会長
10	精神疾患を有する在宅生活者に対する必要な知識とその対応	三根 浩一郎	公益社団法人 全国老人保健施設協会	副会長
11	内部疾患の在宅リハビリテーション	海老原 寛	東北大学	教授
12	フレイル・サルコペニアに対する評価と支援	山田 実	筑波大学	教授
13	がん患者の在宅リハビリテーション	辻 哲也	慶應義塾大学	教授
14	認知症の理解とその対応	鈴木 幹次郎	医療法人芳明会 早稲田クリニック	副院長
15	在宅における神経・筋疾患患者に対する必要な知識とその対応	原 元彦	帝京大学医学部附属溝口病院	教授
16	在宅リハに必要な摂食・嚥下機能の評価と応用	戸原 玄	東京科学大学	教授
17	排泄学 排尿・排便の仕組みと在宅における支援	西村 かおる	コンチネンスジャパン株式会社	専務取締役
18	在宅リハにおける倫理的配慮と事故対応	鈴木 雄介	鈴木法律事務所	弁護士／医師
19	在宅リハビリテーションに必要な脳卒中患者の歩行再建と装具療法	近藤 国嗣	一般社団法人 全国デイ・ケア協会	会長
20	在宅に必要なフィジカルアセスメントの知識とリスク管理の方法と実際	宮越 浩一	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院	リハビリテーション科 部長
21	作業工程分析に基づくADLの評価とその対応	坂田 祥子	東京湾岸リハビリテーション病院	
22	活動参加に効果的に働きかける生活行為向上マネジメント	土井 勝幸	介護老人保健施設せんだんの丘	施設長
23	在宅支援に求められるコミュニケーションスキル	取出 涼子	医療法人社団輝生会	SW・CM部門スーパーバイザー
24	在宅リハ支援の中で人生の最終段階における意思決定支援に必要な知識とその対応	佐原 まち子	一般社団法人 WITH 医療福祉実践研究所	代表理事
25	在宅リハに必要な栄養学とその対応	吉村 芳弘	熊本リハビリテーション病院 サルコペニア・低栄養研究センター	センター長
26	在宅リハ支援に必要な住環境整備の理解と実践	水越 良行	株式会社ヤマシタ ホームケア事業本部 営業統括部 人材開発課	課長
27	在宅リハビリテーションにおける転倒予防	大高 洋平	藤田医科大学	教授
28	就労支援に必要な制度の理解と効果的な実践例	佐伯 覚	産業医科大学	教授
29	かかりつけ医の役割と連携における工夫	石垣 泰則	医療法人社団悠輝会 コーラルクリニック	院長
30	発達障害児小児に対する必要な知識とその対応	和田 勇治	日本医科大学千葉北総病院	リハビリテーション科 部長
31	在宅リハにおける失語症者の支援と対応	山本 徹	帝京平成大学 健康メディカル学部 言語聴覚学科	准教授
32	在宅生活を送る高次脳機能障がい者の支援	橋本 圭司	昭和大学医学部リハビリテーション医学講座	准教授
33	総合事業の基礎知識と関わり～一般介護予防事業を中心に～	齋藤 陽子	厚生労働省 老健局 老人保健課	介護予防栄養調整官
34	事業所運営における情報活用	染谷 和久	医療法人真正会 情報戦略室	室長
35	事業所運営と事業戦略の考え方や業務改善による生産性向上への取り組み方	岡野 英樹	一般社団法人 全国デイ・ケア協会	理事
36	地域共生社会（地域包括ケア）を支える地域リハビリテーション	浜村 明德	医療法人共和会 小倉リハビリテーション病院	名誉院長